

平成22年4月22日

フェニックス工房の開所について

4月15日、広島大学の「ものづくり拠点」となるフェニックス工房の建物が完成し、開所式を開催しました。

フェニックス工房は、学生の理系離れが叫ばれる中、「ものづくり」に興味を持って入学してきた工学部生にその興味を持続させるために、平成8年工学部にある学校工場の古い機械を利用してスタートしました。

学生が実際に工作機械を操作し、ものづくりの楽しさを実感することや、学生が自分で発想したものを即在に自らで試作・製作できる場であることを目的とし、学生に提供しています。

このたび設備・機械類も拡充し、全学の「ものづくり拠点」となる建物が完成しました。国立大学屈指の「ものづくり拠点」としてスタートすることで、工学部生のみならず全学の学生の自主性・創造性を養い、優秀な技術者となって社会に役立つ人材を広島大学から輩出していくことに、フェニックス工房が大きく貢献するものと期待しています。

【フェニックス工房の概要】

1階：ものづくりスペース

学生が、独自のアイデアに基づいて設計・製作を具体化するための場所で、機械・工具等を提供し、学生の自主性・創造性を養うためのものづくりの拠点となります。

2階：アトリエ製図室

建物が物としてどのように組み立てられているのかをすべて見えるように内部空間は組み立てられています。建築の構造、設備（換気空調、配管）、空間の仕組みがわかるもので、鉄骨建築の実物大の教材として設計されています。

また、設計製図室としてだけではなく、展覧会などの用途にも使えるように布の稼働間仕切りを備えています。

【問い合わせ先】

学術室
学術推進グループリーダー 坂口浩司
TEL:082-424-5679、FAX:082-424-5890

